

# LMT型 低圧ラインフィルタ



LMTs32 ~ 48

## ■特長

- 低圧ライン (1MPa 以下) 用の大容量フィルタ。
- ケース取付脚標準装備。
- エレメントの目詰り状態を見る差圧検知器 (目視型及び電気接点付) をオプションで用意。
- 安全の為、バイパス機構を標準で装備。

■鉱物油以外の作動油をご使用の際は、一部材質等が異なりますのでご指示下さい。  
リン酸エステル系：Oリング・パッキンにフッ素ゴム使用。  
水・グリコール系：材質が一部変更になります。  
脂肪酸エステル系：材質が一部変更になります。

- 最高使用圧力 1 MPa
- 試験圧力 1.5 MPa

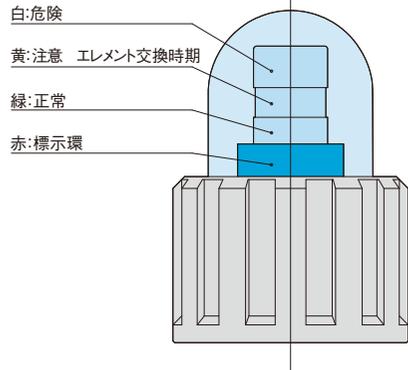
## ■モデル番号コード 表示例 LMTs32-10P32F

※	LMT	※	32	10	P	32	F	※
流体の種類	機種	付属品	シリーズ番号	エレメント精度 (ミクロン表示)	エレメント材質	接続口径	接続方法	特殊仕様
無記号 一般鉱物油 W 水・グリコール系 F リン酸エステル系 QE 脂肪酸エステル系		無記号 付属品なし M マグネット S 目詰り検知器 E 電気接点付 (マイクロスイッチ)	32 40 48	標準品 10 μペーパ エレメント精度 製作範囲 3.5, 10, 20, 40 μ 5 ~ 400 μ	エレメント材質 P (ペーパ) S (ステンレス金網)	記号 呼び径 IN, OUT 接続方法 32 100 A F 40 125 A F 48 150 A F	F:フランジ型	

## ■予備エレメントコード 表示例 T32-010P

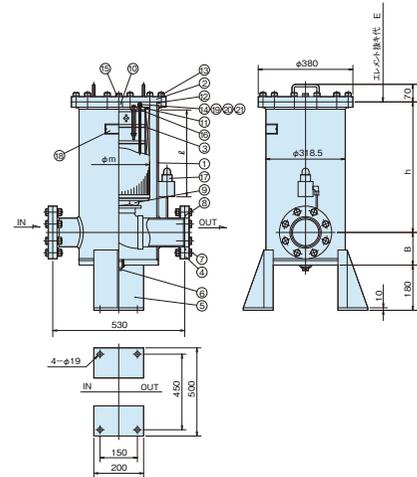
T	シリーズ番号	エレメント精度	エレメント材質	使用流体及び特殊仕様
	32 ~ 48	ミクロン表示 003 ~ 400	P ペーパ SW ステンレス金網	無記号 一般鉱物油 W 水・グリコール系 QE 脂肪酸エステル系

## ■検知器の表示



エレメントが目詰りした場合、その程度に応じ赤色表示環が浮上します。

表示環浮上位置		
動き始め	緑と黄の境	最上昇時(黄と白の境)
0.05 MPa	0.12 MPa	0.18 MPa
バイパス弁設定圧.....0.2 MPa		



品番	品名	材質	個数	備考
21	バネ	産金	SWRH	3
20	平産金	SPCC		3
19	パッキン	ノンアスベスト		3
18	検知器	AI-P	1	1セット
17	検知器	ADC	1	オプション
16	エレメント底板	SS	1	
15	エア抜きプラグ	SS	1	M10 JISB2401 P10
14	エレメント締付ナット	SS	3	M8 割りピン付
13	六角穴付ボルト	SCM	12	
12	Oリング	NBR	1	
11	パッキン	ノンアスベスト	2	エレメント上下
10	安全弁	SS	1	1セット φ100(開口径)
9	接続ナット	AC	1	
8	Oリング	NBR	2	
7	六角ボルト	SS	16	
6	ドレーンプラグ	FC	1	R1
5	ケース取付脚	SS	1	1セット
4	接続フランジ	SS	4	JIS10K フランジ
3	エレメント		1	1セット
2	カバー	SS	1	
1	ケース	SGP	1	

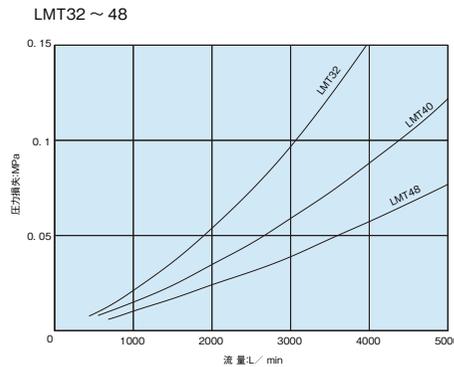
## ■部品表

型式	③エレメント		②	①	④	⑤	⑥	⑦
	φ m	ℓ	Oリング	Oリング	パッキン	パッキン	六角穴付ボルト	六角ボルト
LMT32	350	450	AN6227 81	JISB2401 G130 AN6230 36 AN6230 40	φ250 × φ210 · 11.5	φ16 × φ9 · 11.5	M16 × 45 12本	M16 × 55 16本 M20 × 70 16本
40	250	450						
48	250	500						

## ■寸法表・流量表 (動粘度 50 mm<sup>2</sup>/s、エレメント 10 μペーパ)

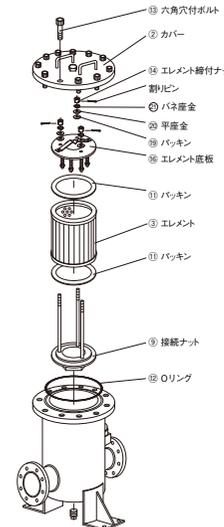
型式	記号	接続口径	H	h	B	E	質量kg	10 μ流量 L/min	圧力損失
LMT32		100 A	900	520	130	400	105	1500	0.04 MPa
40		125 A	1015	635	130	500	2400		
48		150 A	1100	705	145	550	3400		

## ■流量特性



動粘度：50 mm<sup>2</sup>/s  
エレメント精度：10 μペーパ星型

## ■エレメントの洗浄及び交換方法



定期点検時及び検知器の表示が目詰り (標示環が、標示柱の線部を全部かくす位置まで浮上) を示した時は、次の順序でエレメントを取り出し、洗浄又は交換して下さい。

- (a) 分解
- (1) 六角穴付ボルト⑬を緩め、カバー②を取り外して下さい。
  - (2) エレメント底板⑥を持ち上げ、注意しながら抜き出し、⑬、⑭～⑯を外して分解して下さい。
  - (3) パッキン類⑩、⑪は適当な時期を見て、新しいものに交換して下さい。
- (b) 組立
- (1) 組立は、逆の順序で行なって下さい。
  - (2) Oリング、のすわりに注意して、カバーボルト⑬の締付は対角線の順序で行ない完全に締付けて下さい。